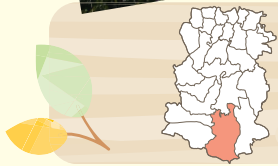




このコーナーでは、小学校区単位（地区）でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



深見地区まちづくり協議会

みどりあふれる豊かな自然 とともにねがい、ともにえがく 活気あふれる住みよい深見

子どもたちもリフトに挑戦！



平成18年から深見小学校の教育文化祭と地区の秋祭りを合同で開催しています。園児や児童の発表に加え、日本文理大学チアリーディング部が素晴らしい演技を披露し、子どもたちと地域のみなさん、そして大学生と一緒に食事を取り、親睦を深めています。他にも地区の女性団体の協力で郷土料理を主体としたワゴンコイン食堂などを開催、今

地域住民も、訪れた方も
楽しめるまちづくり

活動の一部をご紹介します



会長
林さん

年度は多文化交流を目的としたイベント（24ページ）も実施しました。当協議会は設立から10年の節目に、誰もが参加しやすい組織を目指し体制の見直しを行いました。最近では、子どもたちの考案した観光マップの設置や県道沿いにウエルカム看板を掲げるなど、深見をもっと盛り上げるための活動に力を入れています。今後も地域を明るくするための活動を行っていきます。

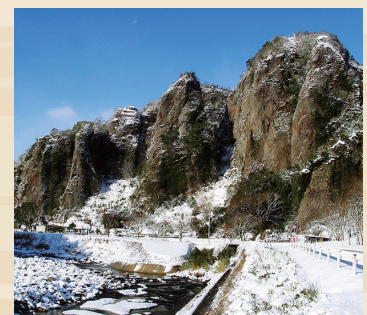
看板とかかしがお出迎え



深見の散策
おすすめスポット

国指定「名勝耶馬溪」の内 仙の岩

県道50号線沿いにある仙の岩は、深見地区の玄関口に位置し、頂上からは由布岳や鶴見岳を見ることができます。向かいにある仙の岩公園には駐車場もあり、桜からネモフィラ、紅葉、雪景色まで四季折々の風景をゆっくり眺められます。また、春には花見神楽、冬はイルミネーションなどのイベントも開催しています。



問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）

東京2020オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルス感染症の影響で1年間延期されましたが、ウィズコロナの大会として新たな歴史を刻んでくれるものと期待しています。宇佐市では昭和43年メキシコオリンピックに三浦（旧姓松田）信由さんが陸上競技の種目、3000m障害に出場。予選2

組13人中7位で、惜しくも決勝進出は逃しましたが、その健闘ぶりは後世まで語り継がれています。

三浦さんは昭和19年、院内町景平の出身。兄の影響で陸上競技を始め、竜東中学校3年の時、県中学駅伝大会で優勝。四日市農業高校では全国高等学校駅伝競走大会「花の一区」を任され4位で禪を渡しました。その後、東洋大学へ進学し、箱根駅伝には4回連続出場していま



す。3000m障害を専門とし、バンコクで行われたアジア大会で銅メダルを獲得しました。

ところが大学3年の時、競技中に靭帯を断裂。医師から競技者としては再起不能と宣告されます。歩くこともままならず、絶望の中にいた三浦さんでしたが、周囲の励ましなどにより再起を決意。大学卒業後も働きながら努力と精進を重ね、ついにオリンピック出場を果たしたのです。三浦さんの座右の銘は「努力は無限」。まさに無限の努力を重ね、夢をつかんだ人でした。

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

32 飛行要務士関係資料

宇佐海軍航空隊では、学徒出陣で海軍に入隊した飛行予備学生のうち、航空機に搭乗せずに地上で戦闘詳報などの書類作成にあたる飛行要務士の養成を行っていました。飛行要務士の一員であった小山陽一郎少尉が残したノートによると、搭乗員以外も砲術や航空機の整備などを学んでいることがわかります。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）